

名 称	令和元年度第1回鹿沼市地域公共交通活性化協議会
日 時	令和元年5月31日(金) 14時00分～15時00分
場 所	北押原コミュニティセンター 会議室2
出席者	委員：佐藤信、奈良部実、清家裕之、谷英夫(橋本)、塩田和也、等々力道也(保坂)、原田篤(磯田)、高橋幸造、石崎岳史、篠崎博由、橋本正人(青木)、鈴木康子、小野典利、市田登、柴田誠、福田義一、茂呂久雄、袖山稔久、 【計18名】 ※()は代理 事務局：鈴木武司、金子恵美子、鈴木さくら
内容及び結果等	次第に沿って進行 1 開会 (鈴木生活課長) 2 あいさつ (佐藤会長) 3 委員紹介 新任となる委員の紹介(清家委員、谷委員、篠崎委員、橋本委員、小野委員、茂呂委員、袖山委員) 4 報告 資料に沿って、報告事項について一括して事務局より説明。 5 協議 ⇒資料に沿って事務局より説明。質疑応答後、承認。 以下、質疑・意見。 (1) I 高齢者運転免許自主返納支援事業の見直しについて ①委員意見 「“交通弱者”とは地理的に交通不便な地域に住んでいる人も含むことも頭に入れておいてほしい。」 ②委員意見 「免許返納して自転車に乗っている人がいるが、路面が悪いことや道幅が狭いこともあり、できればリーバスや予約バスで移動してほしい。予約バスの乗り方教室などをやってみたい。まず乗ってみることが大切。」 (2) II 公共交通の充実に関する事業について ①橋本氏(谷委員代理)質問 「まちなか線のルート改善については今後委員が意見を言う機会はあるか。」 ・事務局回答 「次回12月の協議会において事務局で検討した案を提出するので、その際にご意見をいただきたい。」 ②橋本氏(谷委員代理)質問 「バス情報のオープンデータ化は市直営なのか外部委託にする予定なのか。直営だと路線が多いと厳しいだろう。県でも市町が外部委託する場合の財政支援をできればと考えている。」 ・事務局回答 「直営で実施するつもりではいたが、県の助言などをいただき手法について

	は検討する。」
	③橋本氏（谷委員代理）意見
	「観光事業との連携で、国交省のインバウンド関係の補助メニューにパンフレットの英語化事業があるので活用を考えてもよいかと思う。」
	④委員質問
	「獨協大学病院へのルート検討について、下野市、上三川町、壬生町が広域で事業を実施しているが、そこに鹿沼市も参画することはできないか。」
	・橋本氏（谷委員代理）意見
	「既に3市町と事業者が協議をして運行しているため、そこに参入することは容易ではないと思うが、県でも広域の新規路線導入のガイドラインを作成しており市町を支援していきたいと考えている。」
	(3) その他
	・橋本氏（谷委員代理）：県内の小学2年生向けにバスの乗り方ガイドブックを配布した。子ども用のバス無料乗車券がついているので事業者の皆様には協力をお願いしたい。
	6 その他
	・事務局より、次回協議会を今年12月26日開催予定の旨、伝達した。
	7 閉会
配布資料	資料
次回予定	令和元年12月26日
記録者	鈴木さくら
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)	
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
	(公開の場合) 傍聴人数
	0人